

世田谷区民会館
区庁舎を考える
シンポジウム





日本建築学会の会報『建築』

世田谷区民会館 区庁舎を考える シンポジウム

「半世紀を迎えた世田谷区民会館+区役所庁舎」Part3
2009. 5. 16 (SAT)
国士舘大学 多目的ホール
 13:30開演 参加費 ¥500 (資料代)

世田谷区民会館(1959年)と世田谷庁舎(1961-1969年)は、ル・コルブシユの天才的プロトタイプとして世田谷区に留まり、時代の激変の中にも二人の人間魂がこめられて築き上げられた。それは、近頃一九七〇年代でなく、結核や中絶が横行したシティ・ホールで、多くの区民が利用しました。しかし、築後約50年が経過し、世田谷区では、建て替えを前向きに検討し、庁舎の建て替えが進んでいます。

日本では、結核の流行や中絶の禁止により、建築が公共に変わっていった。過去の歴史性を生かされる機会がなす都市環境に比べ、25年、50年前の面影を想い、抱くことが難しく、また敷地そのものも狭いところがあるのではないだろうか。戦後時代、世界でもっとも美しい都市と称された東京、東京は、神話を築き上げようとしても、過去の前向きなこともない歴史や都市がなくなってしまった。早稲田大学都市計画院の院長に話を聞いた。早稲田大学の1959年について語ったことは、東京工業大学の建築科の専攻で区民会館区庁舎の建築についてお話しいただきます。そして、Part2に引き続き、これからの50年間の区民会館と区庁舎の暮らしや将来について意見交換を行います。

世田谷区民会館 区庁舎
をを考えるシンポジウム

2009-0516
Photo by KiriHara



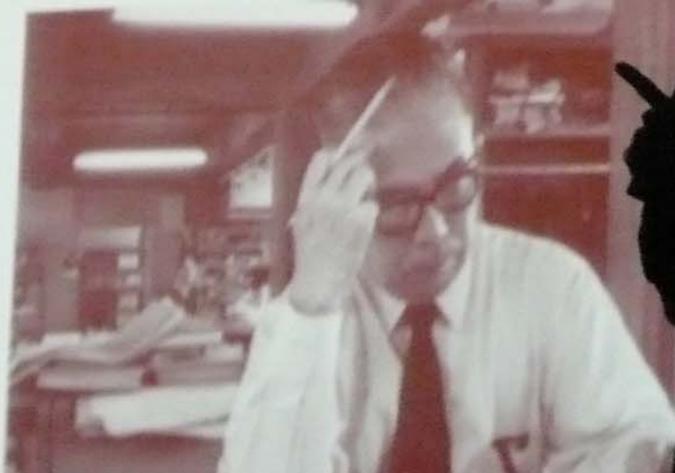
前川国男の1959年
篠田正浩 映画監督

世田谷区民会館 区庁舎
を考えるシンポジウム

2009-0516
Photo by Kiriara

は内務省土木技師、弟・春雄は後に日銀総
 東大建築学科卒業。大学卒業と同時にパリ
 トリエに弟子入り。2年間修行の後帰国し
 事務所入所。1935年前川建築設計事務
 一を活用した建築をテーマにしたが、
 代後半から、打ち込みタイルに代表さ

(1934)、
 2等案
 店 (1952、
 図書館・
 民会館



3. 区民会館の建築的特徴

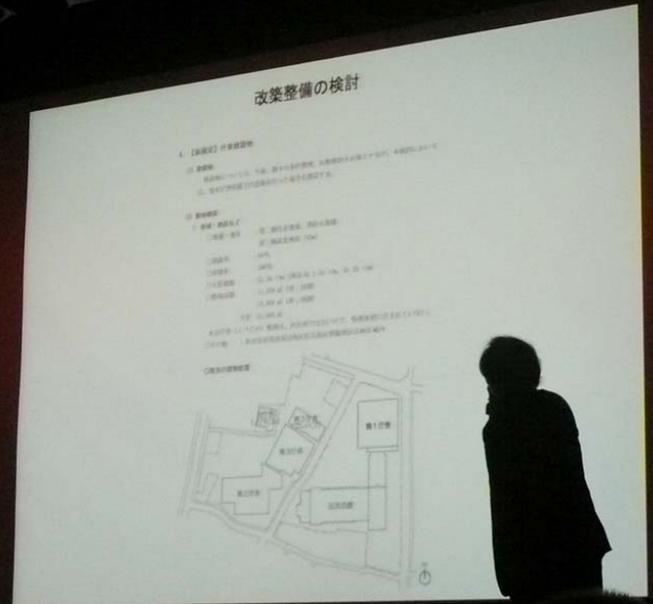
- 世田谷区のために前川が最初に設計した建物で、公会堂と公民館からなり、オーデイトリウム、集会室、食堂、図書館を備えた複合施設として計画
- あわせて計画された(第一)庁舎と2階建ての低層棟(集会室などが入る)でつなぐ。その低層棟の1階はピロティで、広場へのゲートの役割を担う。各フロアに配置は、この敷地の形状(三角形)にあわせて決められたと見られる。
- アクセス道路が2方向にあるということで、それらを広場をつなぎ、広場から各施設に出入りできるようにした。……広場がこの計画の核

戦後の近代建築の好例としての
 世田谷区役所・区民会館
 — 1950年代、60年代の日本の建築界の
 テーマを象徴する存在 —

藤岡 洋保
 (東京工業大学大学院教授 / 近代建築史)

戦後の近代建築の好例としての
 世田谷区民会館・区役所庁舎
 藤岡洋保 東京工業大学大学院教授

世田谷区民会館 区庁舎
 を考えるシンポジウム



改築整備の検討

4. 【調査】作業計画
 (1) 調査目的
 本調査は、既存の建物、設備の現状を把握し、今後の改築計画に資するため、調査を実施する。調査内容は以下の通りである。

(2) 調査項目
 調査項目は、① 建物構造、② 設備状況、③ 利用状況、④ 周辺環境、⑤ 交通アクセス、⑥ 防災対策、⑦ その他、と定める。

(3) 調査方法
 本調査は、現地調査とアンケート調査とを併用して実施する。現地調査は、調査対象の建物に赴き、視覚的に確認する。アンケート調査は、関係者へのインタビューを通じて実施する。

(4) 調査結果の活用
 本調査の結果は、改築計画の立案に活用される。



世田谷区庁舎整備調査研究報告書 平成19年3月

本調査は、世田谷区庁舎の現状を把握し、今後の改築計画に資するため、調査を実施する。調査内容は以下の通りである。

→ 報告書によると、改築整備（第一庁舎・第二庁舎）した場合、今後10年間で104億円、今後20年間で168億円、今後30年間で222億円、今後40年間で452億円を要する。

使い続けていく可能性

なぜ再生か
 本調査は、世田谷区庁舎の現状を把握し、今後の改築計画に資するため、調査を実施する。調査内容は以下の通りである。

→ 報告書によると、改築整備（第一庁舎・第二庁舎）した場合、今後10年間で104億円、今後20年間で168億円、今後30年間で222億円、今後40年間で452億円を要する。

使い続ける可能性について
 JIA世田谷地域会：鯉坂徹

世田谷区民会館 区庁舎
 を考えるシンポジウム



模型制作
国士舘大学 大学院生

世田谷区民会館 区庁舎
を考えるシンポジウム

2009-0516
Photo by KiriHara



パネルディスカッション

世田谷区民会館 区庁舎
を考えるシンポジウム

2009-0516
Photo by KiriHara



日本経済新聞社・ASA研究会主催

2009.5.16(SAT)
国士館大学・多目的ホール
 12:30開演 参加費 ¥500(税別)

「半世紀を迎えた世田谷区民会館+区役所庁舎」Part3

講師：中野浩一氏 (1) (2) (3) (4) (5)
 中野浩一氏 (1) (2) (3) (4) (5)
 (1) 国士館大学 学長 中野浩一氏 (2) 国士館大学 学長 中野浩一氏 (3) 国士館大学 学長 中野浩一氏 (4) 国士館大学 学長 中野浩一氏 (5) 国士館大学 学長 中野浩一氏

12:30 開演 中野浩一氏 (1) (2) (3) (4) (5)
 13:30 中野浩一氏 (1) (2) (3) (4) (5)
 14:30 中野浩一氏 (1) (2) (3) (4) (5)
 15:15 中野浩一氏 (1) (2) (3) (4) (5)
 16:00 中野浩一氏 (1) (2) (3) (4) (5)
 17:45 中野浩一氏 (1) (2) (3) (4) (5)

会場：国士館大学 多目的ホール (〒158-8501 東京都世田谷区国士 1-1-1)

主催：日本経済新聞社 ASA研究会

協賛：国士館大学 世田谷区民会館 世田谷区役所

お問い合わせ：03-3498-1111 (受付時間：平日 10:00~18:00)

〒158-8501 東京都世田谷区国士 1-1-1
 TEL: 03-3498-1111 FAX: 03-3498-1112

懇親会

挨拶：国広ジョージ
 国士館大学 教授

世田谷区民会館 区庁舎
 を考えるシンポジウム

2009-0516
 Photo by KiriHara